

羅漢高原植物観察会

- ・日 時 : 2022年6月12日 10時～15時頃
- ・講 師 : 秋丸浩毅 (山口県レッドデータブック調査検討専門部会員)
- ・集合場所: らかん高原交流センター
- ・集合時刻: 2022年6月12日10時 (受付;9時30分から)
- ・参加費 : 無料
- ・参加対象: 原則小学5年生～上限なし:参加者とその家族(4名まで)
- ・用意するもの
マスク(原則着用)、弁当、飲料、山歩きが出来る服装(長袖・長ズボン)、筆記用具、
可能であれば図鑑、カメラ又はスマホ

・スケジュール

9:30	受付開始 (消毒、検温の実施)	
10:00	企画概要説明	主催者
10:10	羅漢高原の特徴の概要と植物の説明	秋丸
10:30	各参加者の車でスカイパーク駐車場へ移動	
10:50	植物観察と昼食	秋丸
14:00	各参加者の車で交流センターへ移動	
14:20	羅漢高原の植物についての紹介及びまとめ	秋丸
15:00	閉 会	主催者

① 行程(往復2時間半)

- ・ 鉢山跡コースを登り山頂へ
 - ・ 山頂にて昼食
 - ・ みはらしコースで駐車場に戻る
- ※ 時間があれば、その後スキー場の草地や湿地の観察

② 観察

1100mの高地で、夏緑林帯の植生を観察します。この標高は通常ブナ林になるが、塩基性の蛇紋岩地で表土形成が悪く、ブナのないミズナラを主とする特異な植生を観察します。

その他、植物が嫌がる重金属を多く含む鉢山跡の地質に適応した、ヘビネゴザ(シダ植物)の群生の観察。さらに、この一帯から広島県西部は中国山地であるが、四国の太平洋側に分布するシロモジやヤブウツギ、ニガイチゴといった植物が分布するのも面白い。

春に見られるシコクスミレ・アケボノスミレ・ヤマトグサやヤブウツギ・レンゲツツジ・ホソバノシロスミレ等が見られないのは残念です。

スキー場草地ではモウセンゴケやバイケイソウなども観察します。

③ 雨天時

雨が弱ければスキー場周辺で傘を差して観察も可能である。道路沿いも平地では見られないものもあり、面白い。

室内では、花の写真や植生の特徴を、映像を交えて解説します。

④ その他

参加者の年齢層・体力・関心で、登山中心や植物観察中心に変えることも考えられ、行程も変わってくるかもしれません。